

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。3月に「平成28砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第3回）」を公表した（詳細は2017年5月号参照）。

平成28砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：195万9000トン（前回見通しから1万1000トン減）

総供給量：188万9000トン（同1万1000トン増）

【異性化糖】

消費量および供給量：82万9000トン（同5000トン増）

表1 平成28砂糖年度における砂糖の需給見通し

(単位：千トン)

		平成27砂糖年度 (実績)	平成28砂糖年度				合計 (見通し)	
			10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績見込み)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)		
消費量	分みつ糖	1,923	510.4	438.5	488.9	485.2	1,923	
	含みつ糖	35	6.1	13.9	10.1	5.9	36	
	合計	1,958	516.5	452.4	499.0	491.1	1,959	
供給量	国内産糖	分みつ糖	805	317.5	321.6	36.8	-	676
		含みつ糖	8	0.8	7.7	1.3	-	10
		小計	813	318.3	329.3	38.1	-	686
	輸入糖	分みつ糖	1,164	370.1	179.9	292.4	350.3	1,193
		含みつ糖	11	1.6	4.5	3.4	0.9	10
		小計	1,175	371.7	184.4	295.8	351.2	1,203
	合計	分みつ糖	1,969	687.6	501.5	329.2	350.3	1,869
		含みつ糖	19	2.4	12.2	4.7	0.9	20
		小計	1,988	690.0	513.7	333.9	351.2	1,889
期末在庫		314	487.6	529.0	363.9	224.0	224	

資料：農林水産省「平成28砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第3回）」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表2 平成28砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	平成27砂糖年度 (実績)	平成28砂糖年度				合計 (見通し)
		10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績見込み)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	
消費量	818	177.3	182.6	245.3	223.8	829
供給量	818	177.3	182.6	245.3	223.8	829

資料：農林水産省「平成28砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第3回）」

注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2. 異性化糖の移出動向

4月の移出数量は前年同月からやや減少

2017年4月の異性化糖の移出数量は、8万2154トン（前年同月比3.3%減、前月比7.3%増）であった（図1）。

4月の規格別の移出量は、次の通りであった（図2）。

果糖含有率40%未満 509トン

（前年同月比28.2%増、前月比18.9%増）

同40%以上50%未満 2万1702トン

（同0.2%増、同6.4%増）

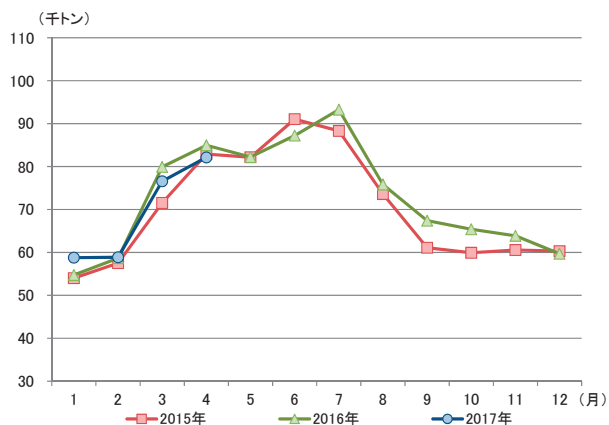
同50%以上60%未満 5万8608トン

（同4.8%減、同7.7%増）

同60%以上 1335トン

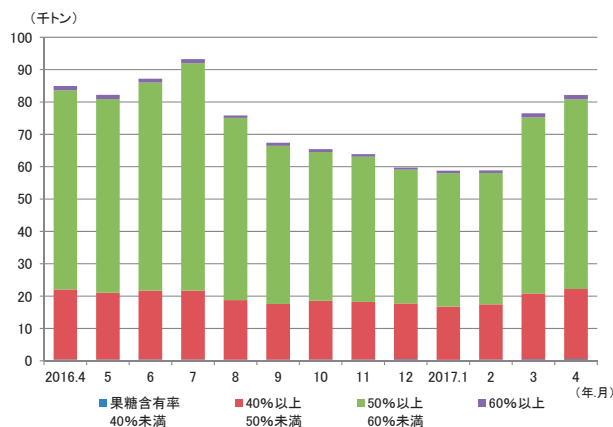
（同1.0%増、同1.8%増）

図1 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図2 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

3. 輸入動向

【分みつ糖の輸入動向】

3月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2017年3月の分みつ糖（HSコード 1701.14-110）の輸入量は、9万4040トン（前年同月比3.7倍、前月比3.9倍）であった（図3）。

輸入先国はタイ、豪州および米国の3カ国で、国別の輸入量は次の通りであった（図4）。

タイ 7万8928トン

（前年同月比3.1倍、前月比6.3倍）

豪州 1万5093トン

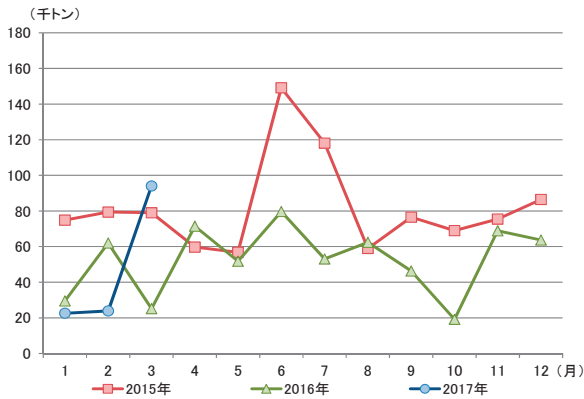
（前年同月輸入実績なし、同32.4%増）

米国 19トン

（前年同月および前月同）

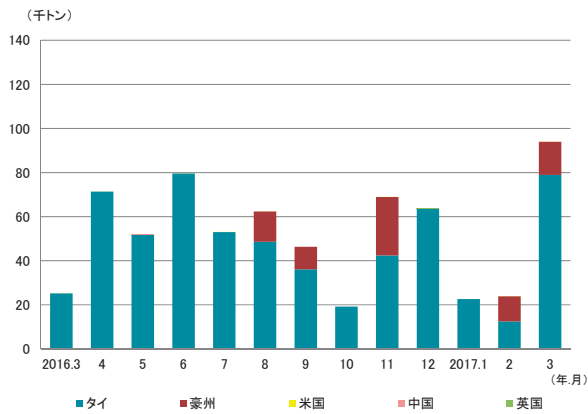
また、同月における豪州からの高糖度原料糖（糖度98.5度以上99.3度未満、HSコード1701.14-200）の輸入量は、3万9997トン（前年同月比17.7%増、前月比23.0%増）であった。

図3 分みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110

図4 分みつ糖の国別輸入量の推移



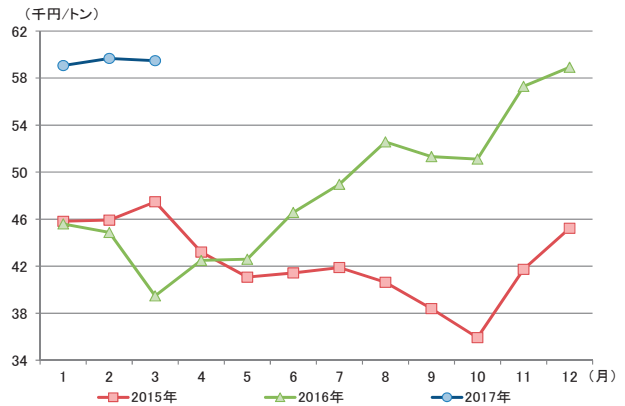
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110

2017年3月の1トン当たりの輸入価格は、5万9486円（前年同月比50.7%高、前月比0.3%安）であった（図5）。

タイ	5万8861円
	（前年同月比49.3%高、前月比4.7%高）
豪州	6万2662円
	（前年同月輸入実績なし、同1.1%安）
米国	13万3263円
	（前年同月比30.7%高、同18.7%高）

また、同月における豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、6万1959円（前年同月比49.3%高、前月比13.3%高）であった。

図5 分みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110

【含みつ糖の輸入動向】

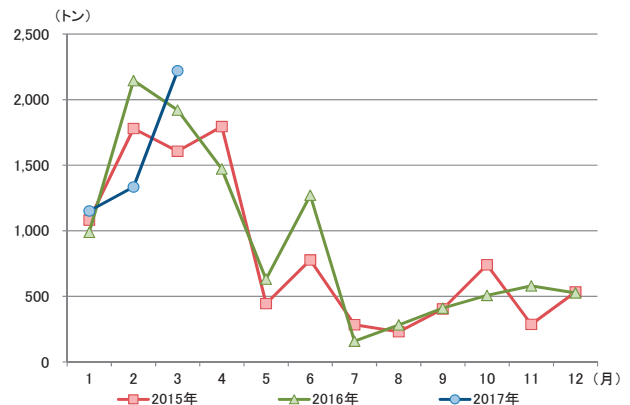
3月の輸入量は前年同月からかなり大きく増加

財務省「貿易統計」によると、2017年3月の含みつ糖（HSコード1701.13.000、1701.14.190）の輸入量は、2220トン（前年同月比15.6%増、前月比66.4%増）であった（図6）。

輸入先国はタイ、中国およびフィリピンの3カ国で、国別の輸入量は次の通りであった（図7）。

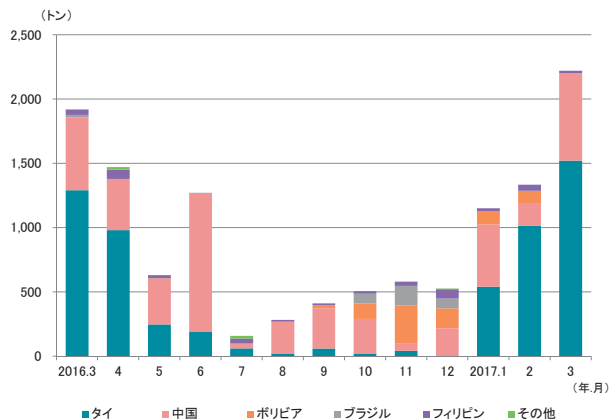
タイ	1521トン
	（前年同月比17.9%増、前月比50.0%増）
中国	682トン
	（同20.3%増、同4.0倍）
フィリピン	17トン
	（同59.5%減、同63.8%減）

図6 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図7 含みつ糖の国別輸入量の推移



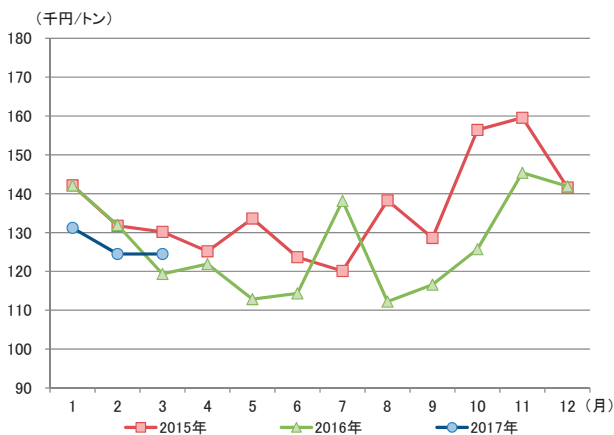
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2017年3月の1トン当たりの輸入価格は、12万4486円（前年同月比4.3%高、前月同）であった（図8）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ	12万1253円
	（前年同月比2.9%高、前月比0.5%高）
中国	12万9337円
	（同9.5%高、同0.1%安）
フィリピン	21万9059円
	（同69.0%高、同29.8%高）

図8 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

【加糖調製品の輸入動向】

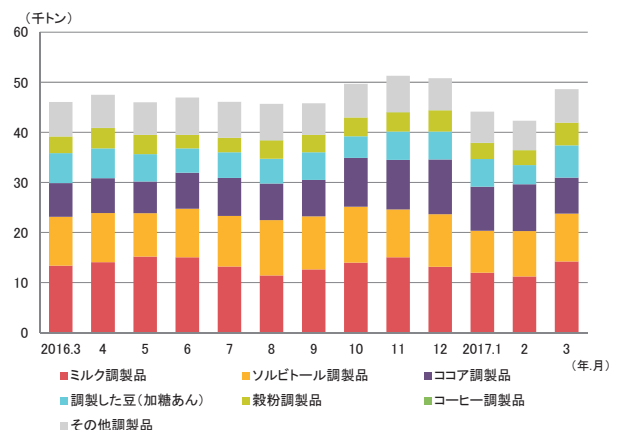
3月の加糖調製品の輸入量は前年同月からやや増加

財務省「貿易統計」によると、2017年3月の加糖調製品の輸入量は、4万8630トン（前年同月比5.6%増、前月比14.9%増）であった（図9）。

品目別の輸入量は、次の通りであった。

ミルク調製品	1万4217トン
	（前年同月比6.2%増、前月比26.6%増）
ソルビトール調製品	9550トン
	（同2.2%減、同5.5%増）
ココア調製品	7201トン
	（同6.9%増、同22.9%減）
調製した豆（加糖あん）	6428トン
	（同7.4%増、同68.1%増）
穀粉調製品	4522トン
	（同37.1%増、同52.1%増）
コーヒー調製品	32トン
	（同25.3%減、同7.1%減）
その他調製品	6681トン
	（同2.3%減、同13.6%増）

図9 加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：各品目のHSコードは次の通り。
ココア調製品：1806.10-100、1806.20.111、1806.20-190
コーヒー調製品：2101.11-100、2101.12-110、2101.12-246
調製した豆（加糖あん）：2005.40-190、2005.51-190、2005.99-119
ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-284
ソルビトール調製品：2106.90-510
穀粉調製品：1901.90-251、1901.90-252
その他調製品：2106.90-590、2101.20-246、2106.90-282、2106.10-219

4. 価格動向

【市場価格】

砂糖、異性化糖ともに前月と同水準で推移

4月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京	1キログラム当たり195～196円
大阪	同196円
名古屋	同199円
関門	同199円

上白糖（小袋）

東京	1キログラム当たり208～209円
大阪	同210円

本グラニュー糖（大袋）

東京	1キログラム当たり200～201円
大阪	同201円
名古屋	同204円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京	1キログラム当たり195～196円
大阪	同196円
名古屋	同197円

4月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり131～132円

果糖分55%もの

同137～138円

【小売価格】

4月上白糖小袋の地域間の価格差は最大で24.4円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける4月上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、193.2円（前年同月差4.5円高、前月差0.7円安）であった。

同月の地域別^{（注）}の平均小売価格は次の通りであった。

北海道 199.7円

（前年同月差5.8円高、前月差1.2円高）

東北 199.7円

（同1.6円安、同0.7円安）

関東など 180.4円

（同3.0円高、同0.1円安）

首都圏 195.6円

（同12.2円高、同6.3円安）

中部 181.0円

（同0.9円安、同1.3円高）

関西 191.1円

（同4.0円高、同0.5円高）

中国・四国 204.8円

（同5.4円高、同0.9円安）

九州・沖縄 193.7円

（同3.2円高、同4.6円高）

最も高かったのは中国・四国で、最も安かった関東などとの価格差は24.4円であった。

（注）地域の内訳は次の通りである。以下、グラニュー糖および三温糖も同じである。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

4月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で75.8円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける4月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、241.7円（前年同月差5.3円高、前月差1.4円高）であった。

同月の地域別の平均小売価格は次の通りであった。

北海道	199.9円
（前年同月差10.6円高、前月差0.3円高）	
東北	275.7円
（同2.8円高、同0.7円高）	
関東など	250.1円
（同3.8円高、同4.4円高）	
首都圏	248.6円
（同8.2円高、同2.5円高）	
中部	251.3円
（同0.9円高、同0.2円高）	
関西	231.4円
（同5.2円高、同1.2円高）	
中国・四国	256.1円
（同10.4円高、同2.0円高）	
九州・沖縄	219.3円
（同0.1円安、同1.2円高）	

最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は75.8円であった。

4月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で49.2円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける4月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、237.6円（前年同月差6.3円高、前月差1.1円高）であった。

同月の地域別の平均小売価格は次の通りであった。

北海道	239.8円
（前年同月差5.3円高、前月差2.0円安）	
東北	260.2円
（同3.0円安、同2.3円安）	
関東など	242.6円
（同5.8円高、同2.6円高）	
首都圏	238.0円
（同12.8円高、同2.1円高）	
中部	227.5円
（同0.9円高、同1.1円高）	
関西	231.6円
（同7.5円高、同0.3円高）	
中国・四国	253.3円
（同7.6円高、同2.1円高）	
九州・沖縄	211.0円
（同3.3円高、同3.2円高）	

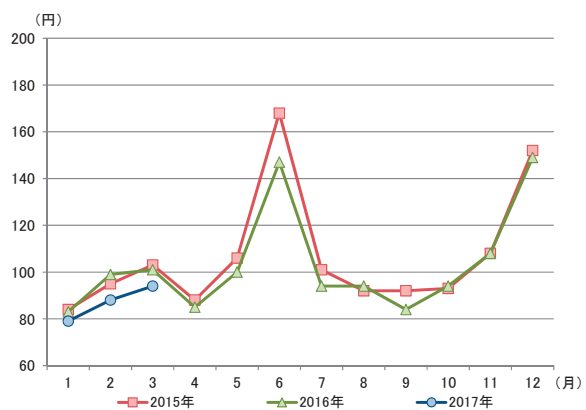
最も高かったのは東北で、最も安かった九州・沖縄との価格差は49.2円であった。

【購入金額および購入量】

3月の砂糖の支出金額は前年同月からかなりの程度減少

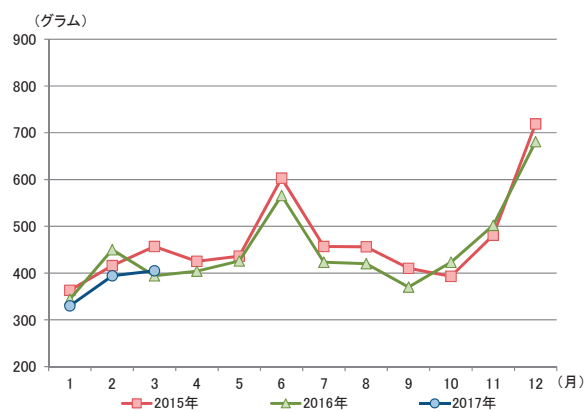
総務省「家計調査」によると、2017年3月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は39で、1世帯（2人以上）当たりの支出金額は、94円（前年同月比6.9%安、前月比6.8%高）であった（図10）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、405グラム（同2.8%増、同2.8%増）であった（図11）。

図10 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移



資料：総務省「家計調査」

図11 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」